



AS MXF Checker

製品マニュアル

2026/8/4版

ver1.1.7

目次

1. はじめに.....	3
1.1. 本マニュアルについて.....	3
1.2. 製品概要.....	3
1.3. 動作環境と前提条件.....	3
2. インストールとセットアップ.....	4
2.1. ダウンロード手順.....	4
2.2. インストール方法.....	4
2.3. ライセンス認証とアクティベーション.....	4
2.4. ライセンスの更新.....	9
2.5. ライセンスの解除.....	10
3. 使い方.....	13
3.1. ソフトウェアの起動.....	13
3.2. ユーザーインターフェースの概要.....	13
4. 設定画面.....	21
4.1. Settings.....	22
4.2. プロキシ設定.....	24
4.3. ライセンス設定.....	25
4.3.1. このアプリについて.....	26
4.3.2. OSS／サードパーティライセンス.....	26
5. トラブルシューティング.....	27
5.1. よくある質問とその解決策.....	27
6. 補足情報.....	30
6.1. ライセンスとトライアルについて.....	30
7. サポートについて.....	30

1. はじめに

1.1. 本マニュアルについて

このマニュアルは、『AS MXF Checker』のインストール方法および操作方法を解説しています。

1.2. 製品概要

『AS MXF Checker』は、XDCAM・XAVCのMXFファイルが規格に準拠しているかどうかを検査するソフトウェアです。また、MXFとしての規格だけでなく、日本の民放連搬入基準であるT031、T033、T035、およびテレビCM搬入基準(HD/4K)に準拠しているかもチェックすることができ、さらに一部の再生機におけるエラーが出やすいパターンのチェックも行うことができます。

また、Premiumプランでは規格に準拠したファイルへのリラッピング機能も搭載しています。
(XDCAMファイルのみ)

※ 映像コーデック、音声コーデック自体に異常がある場合はリラップしても修正されません

1.3. 動作環境と前提条件

本製品は以下の環境で動作します。

対応OS	Windows 10以降(x64)、MacOS 12以上
メモリ	4GB以上(8GB以上を推奨)
ストレージ	1GB以上の空き容量

2. インストールとセットアップ

2.1. ダウンロード手順

製品のダウンロードは、アンバーサインウェブサイトのサブスクリプション管理ページから行います。ダウンロード時に使用許諾契約に同意する必要があります。

2.2. インストール方法

ダウンロードしたインストーラーを実行し、画面の指示に従ってインストールを進めます。インストール後、初めてご利用なる際に使用許諾契約に改めて同意する必要があります。

2.3. ライセンス認証とアクティベーション

インストール後、ソフトウェアを起動するとライセンス認証が求められます。ライセンス認証には、オンライン認証とオフライン認証の2通りがあります。環境に応じた方法でアクティベーションを完了させてください。

- オンラインライセンス認証 **<推奨>**

ソフトウェアがアンバーサインライセンスサーバーにアクセスし、サブスクリプション更新やプラン変更を自動で行います。

次の手順でライセンス認証を行うことができます。

1. ソフトウェア利用規約に同意のチェックをお願いします。
2. デバイス名を必要に応じて入力してください。サブスクリプション管理画面で表示されますので、わかりやすい名前をつけることをお勧めします。
3. 「アクティベーションする」のボタンを押してください。

☒ ソフトウェア利用規約および関連規定に同意します

ライセンス認証に必要な情報を入力してください。

デバイス名

必須ではありませんがサブスクリプション管理画面で表示されるため、分かりやすい名前をつけることをお勧めします。

認証方法 ☒ オンライン
(普段デバイスはインターネットに接続されています) <お勧め>

☐ オフライン
(普段デバイスはインターネットに接続されていません)

オンライン認証の場合、サブスクリプションの更新時に自動でライセンス認証が更新されます。
オフライン認証の場合、サブスクリプションの更新時に手でライセンス更新を行う必要があります。

[» プロキシ設定](#)

アクティベーションする

- アンバーサインWebサイトへ遷移します。ログインしていない場合、ログインを求められます。
- ライセンスを適用するサブスクリプションを選択してください。ユーザーメモ欄に、端末に関するメモを入力することができます。必要に応じて入力してください。
- 「ライセンスを適用する」ボタンを押してください。ライセンスが適用され、自動的にアプリケーションが使用可能になります。

ライセンスの適用

ライセンスを適用する
デバイス・製品

デバイス名 akinoMacBook-Air-2.local
OS MacOS (Apple Silicon)
製品 AS MXF Audio Inserter
認証方法 オンライン

適用する
サブスクリプションの
選択

	製品名・プラン名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動更新	ユーザーメモ
☒	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	

ユーザーメモ

ライセンスを適用する »



プロキシ経由でインターネットに接続している場合、デフォルトのプロキシ利用設定は「OS設定に従う」になっておりますので、通常はそのままプロキシ経由でオンラインライセンス認証が可能です。

ただし、以下の環境では、プロキシ設定のリンクをクリックして、「静的に指定する」をご選択いただき、プロキシサーバーのアドレスなどを登録してください。

- (MacOSおよびLinux)「自動プロキシ検出」「自動プロキシ構成」を利用してプロキシを利用している環境
- プロキシにID、パスワードが必要な環境

- オフラインライセンス認証

インターネットに接続できない環境でソフトウェアを利用するための方式です。サブスクリプションの更新ごとに手動で新しいライセンスファイルを適用する必要があります。

次の手順でライセンス認証を行うことができます。

1. ソフトウェア利用規約に同意のチェックをお願いします。
2. デバイス名を必要に応じて入力してください。サブスクリプション管理画面で表示されますので、わかりやすい名前をつけることをお勧めします。
3. 「デバイス認証ファイルをダウンロード」ボタンを押すと、「AS-Device-authentication.txt」という名前のファイルがダウンロードされます。これがデバイス認証ファイルです。

☑ ソフトウェア利用規約および関連規定に同意します

ライセンス認証に必要な情報を入力してください。

デバイス名

必要ではありませんがサブスクリプション管理画面で表示されるため、分かりやすい名前をつけることをお勧めします。

認証方法 ● オンライン
(普段デバイスはインターネットに接続されています) <お勧め>

○ オフライン
(普段デバイスはインターネットに接続されていません)

オンライン認証の場合、サブスクリプションの更新時に自動でライセンス認証が更新されます。
オフライン認証の場合、サブスクリプションの更新時に手動でライセンス更新を行う必要があります。

デバイス認証ファイルをダウンロード

4. 別のPCなどでアンバーサインWebサイトを開き、「サブスクリプション画面」に「オフラインライセンスを適用する」というメニューがありますのでそれをクリックしてください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動 更新	支払 方法	ユーザーメモ	
1	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理
2	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理
3	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理

[クレジットカード変更および領収書発行](#) >>

オフラインライセンスの適用・解除はこちら

- >> オフラインライセンスを適用する (デバイス認証ファイルが必要です)
- >> オフラインライセンスを解除する (ライセンス解除要求ファイルが必要です)

5. 「オフラインによるライセンス適用」画面で、さきほどダウンロードした「デバイス認証ファイル」を読み込ませてください。
6. ライセンスを適用するサブスクリプションを選択してください。ユーザーメモ欄に、端末に関するメモを入力することができます。必要に応じて入力してください。
7. 「ライセンスを適用する」ボタンを押してください。「ライセンスファイル」(AS-License.txt) がダウンロードされます。

オフラインによるライセンス適用

デバイス認証ファイル

[ファイルを選択](#)
AS Device...tion (14).txt

ライセンスを適用する
デバイス・製品

デバイス名

akinoMacBook-Air-2.local

OS

MacOS (Apple Silicon)

製品

AS MXF Audio Inserter

認証方法

オフライン

適用する
サブスクリプションの
選択

	製品名・プラン名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動更新	ユーザーメモ
☒	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	

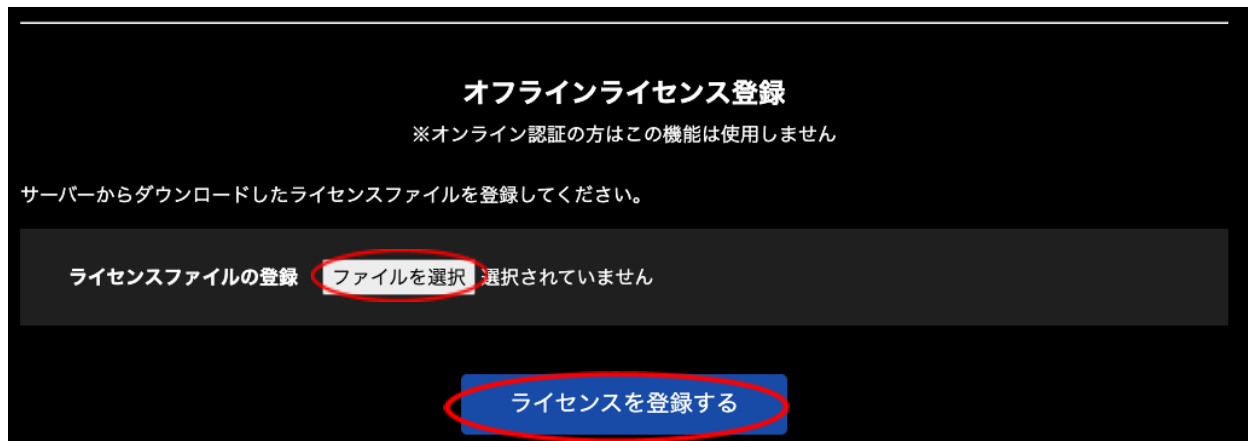
ユーザーメモ

<< [元のページへ戻る](#)

[ライセンスを適用する](#) >>

8. ソフトウェアのライセンス認証画面に戻り、一番下にある「オフラインライセンス登録」のメニューから、先ほどダウンロードしたライセンスファイル

を読み込ませ、「ライセンスを登録する」ボタンを押してください。これでアプリケーションが使用可能になります。



2.4. ライセンスの更新

オフラインライセンスの場合、サブスクリプション期間の更新の際に、新しいライセンスファイルを適用する必要があります。新しいライセンスの適用は、現在のライセンス期間終了後、猶予期間(通常14日間。トライアルの場合、3日間)内に行うことができます。猶予期間を過ぎるとアプリケーションが使用不可になりますのでご注意ください。

1. アンバーサインWebページの「サブスクリプション管理」画面の中の「デバイス管理」ボタンを押してください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払いサイクル	現在のご利用期間	自動更新	支払方法	ユーザーメモ	
1	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
2	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
3	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理

2. 「デバイス管理」画面から、新しいライセンスを適用したいデバイスのライセンスファイルをダウンロードしてください。

デバイスの管理

製品名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動更新	ユーザーメモ
AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	

No.	端末・サーバー名	OS	登録日	認証方法	⚠ お知らせ	ユーザーメモ
1	akinoMacBook-Air-2.local	MacOS (Apple Silicon)	2025/4/12	オフライン		ライセンスファイル

3. ソフトウェアの管理画面に遷移し、「ライセンス更新」メニューから先ほどダウンロードしたライセンスを選択してください。「ライセンス期限」が更新されれば完了です。

アカウント : aki.hanzawa@amber-sign.jp

ライセンス状態 : active

プラン : Premium

確認方法 : offline [オンラインに切り替える](#)

最終ライセンス確認日時 : 2025-07-10 13:06:42 +0900 JST

ライセンス期限 : 2026-05-24 12:20:13 +0900 JST (317日後)

ライセンス更新 : ファイルを選択 選択されていません

ライセンス解除 : [ライセンスを解除する](#)

※ オンラインライセンスの場合、自動的に新しいライセンスが適用されますので何もする必要はありません。

2.5. ライセンスの解除

端末の更新などでライセンスを移行する必要がある場合、現在ご利用中の端末からライセンスを解除し、新しい端末に改めてライセンスを適用していただくことができます。

1. ソフトウェアの管理画面に遷移し、「ライセンス解除」ボタンを押してください。
オンラインライセンスの場合、以上でライセンスの解除は完了です。解除した端末ではもうソフトウェアはご利用いただけません。アンバーサインWebサイトより、ライセンスが戻っていることをご確認ください。
オフラインライセンスの場合、「ライセンス解除要求ファイル」(

AS-Request-Deactive.txt)がダウンロードされます。この時点で端末ではソフトウェアがご利用いただけなくなります。「ライセンス解除要求ファイル」をアンバーサインWebサイトより正しく適用しないと、ライセンスが利用不能になりますのでご注意ください。

アカウント : aki.hanzawa@amber-sign.jp

ライセンス状態 : active

プラン : Premium

確認方法 : offline [オンラインに切り替える](#)

最終ライセンス確認日時 : 2025-07-10 13:06:42 +0900 JST

ライセンス期限 : 2026-05-24 12:20:13 +0900 JST (317日後)

ライセンス更新 : [ファイルを選択](#) 選択されていません

ライセンス解除 : [ライセンスを解除する](#)

- アンバーサインWebサイトに遷移し、サブスクリプション管理画面下部の「オフラインライセンスを解除する」をクリックしてください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動 更新	支払 方法	ユーザーメモ	
1	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
2	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
3	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理

[クレジットカード変更および領収書発行](#) >>

オフラインライセンスの適用・解除はこちら

- >> オフラインライセンスを適用する (デバイス認証ファイルが必要です)
- >> [オフラインライセンスを解除する \(ライセンス解除要求ファイルが必要です\)](#)

3. ライセンス解除画面で、先ほどダウンロードした「ライセンス解除要求ファイル」を入力し、「ライセンスを解除する」ボタンを押してください。これで解除したライセンスが再び使用可能な状態に戻ります。

ライセンスの解除

ライセンス解除要求ファイル

ファイルを選択 | AS Reque...ctive (1).txt

デバイス情報

デバイス名	akinoMacBook-Air-2.local
OS	MacOS (Apple Silicon)
認証方法	オフライン
ユーザーメモ	

解除するライセンス

製品	AS MXF Audio Inserter Client Standard
契約期間	トライアル中 2025/4/24まで
自動更新	有
契約数	1
登録数	1 → 2
ユーザーメモ	

◀ 元のページへ戻る

ライセンスを解除する ▶

3. 使い方

3.1. ソフトウェアの起動

『AS MXF Checker』のアイコンを起動します。



3.2. ユーザーインターフェースの概要

起動後、メイン画面が表示されます。メイン画面には、以下の主要なセクションが表示されます。



MXFファイル情報エリア(①)

検査するMXFファイルの一覧が表示されます。MXFファイルをドラッグ＆ドロップ、または「ファイル選択」ボタンから選択することで一覧に追加されます。

追加されたMXFファイルはすぐに検査が開始されます。すでに検査中のファイルがある場合、検査待ちとなり、順次検査されます。

各列の意味は以下の通りです。

ファイル名	検査するMXFのファイル名です。
サイズ	ファイルサイズです。単位はGB(1000^3)です
ファイル尺	ファイルのデュレーションです
スタートTC	ファイルのスタートTCです
チェック結果	
MXFヘッダ	MXFのヘッダーメタデータの検査結果を○△ × で表示します
MXF全体	MXFのインテックステーブルやフレームデータの検査結果を○△ × で表示します
民放連	民放連基準の検査結果を○△ × で表示します
その他	その他、運用上トラブルとなりやすい項目の検査結果を○△ × で表示します
フォーマット	ファイルの状態から推察されるフォーマットを表示します。(XDCAM MPEGHD422、XAVC-L25など)
インフォメーション	検査結果に関する情報のサマリーが表示されます。MXFファイルに何も問題がなかった場合は何も表示されません。 検査中はプログレスバーが表示されます。

ファイル詳細情報(②)

選択したファイルの詳細な情報が表示されます。各項目の意味は以下の通りです。

ファイル名	検査するMXFのファイル名です。
ファイルサイズ	ファイルサイズです。
解像度・方式	解像度、フレームレート、インターレース／プログレッシブを表示します。
フレーム数	ファイルが内包しているフレーム数を表示します。Pre-ChargeやRoll-OutがあるMXFファイルの場合、その分のフレームを含みます。
タイムコード	DFかNDFかの別、および、 タイムコードの連続判定、スタートTCおよび最後のフレームのTCを表示します。 タイムコードが連続しているかの判定は、まず、簡易判定値が表示され、全フレームの検査終了後に判定値が表示されます。
オペレーションパターン	MXFのオペレーションパターンを表示します。通常、OP1aです。 Panasonic製MXFやDNxHDなどでは、OP1bやOP-Atomが表示される場合があります。
パーティションスタイル	Segmentd Body Partition Style や Single Body Partition Style といった文言が表示されます。 民放連搬入基準 T035では、Segmentd Body Partition Style である必要があります。
ステータス	「Closed and Complete」「Open and Incomplete」などの情報が表示されます。グローイング形式でヘッダーとフッターの状態が異なる場合、矢印で表現されます。 民放連搬入基準 T035では、「Closed and Complete」である必要があります。
UMID	MXFファイルのUMIDを表示します。
SHA1ハッシュ値	MXFファイルのハッシュ値を表示します。SHA1ハッシュ値はCMオンラインで利用される値です。
出力ソフトウェア	検査したMXFを出力したソフトウェア名が表示されます。

MXFフォーマット	ファイルの状態から推察されるフォーマットを表示します。(XDCAM MPEGHD422、XAVC-L25など)
映像コーデック	映像コーデックの種類を表示します。
色域・ダイナミックレンジ	BT.709、BT.2020、BT.2100(HLG)、BT.2100(PQ)を表示します。BT.2100はHDRです。
映像平均ビットレート	ヘッダーメタデータに記載されているビットレートです。
瞬間最大ビットレート	実際のMXFのビットレートを算出し、その最大値を表示します。
最大フレームサイズ	MXFのフレームデータの最大サイズと、GOPサイズの最大値を表示します。これが過大だと再生機でエラーになる場合があります。
音声コーデック	リニアPCMかどうかと、ビット数とサンプリング周波数を表示します。
音声チャンネル数	MXFに含まれる音声チャンネル数を表示します。
ラウドネス	ラウドネス計算したLKFS値とトゥルーピーク値を表示します。同時に2ストリームまで検査可能です。 タイムコードのshow点からファイル終端までが検査対象になり、カラーバーの1KHzなどは検査対象外となりますので、民放連基準T032「テレビ放送における音声レベル運用規準」に準拠した検査が可能です。
アンシラリ	MXFにアンシラリ情報を含むかと、含む場合、フレームごとのバイト数を表示します。

- リラップボタン

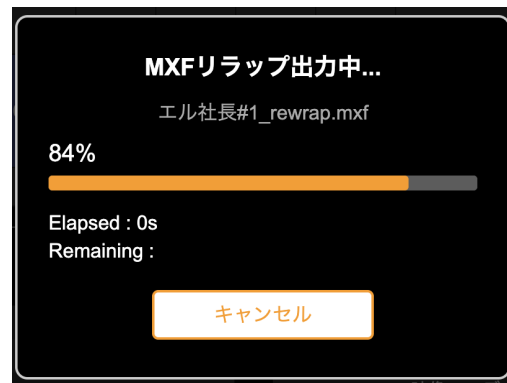
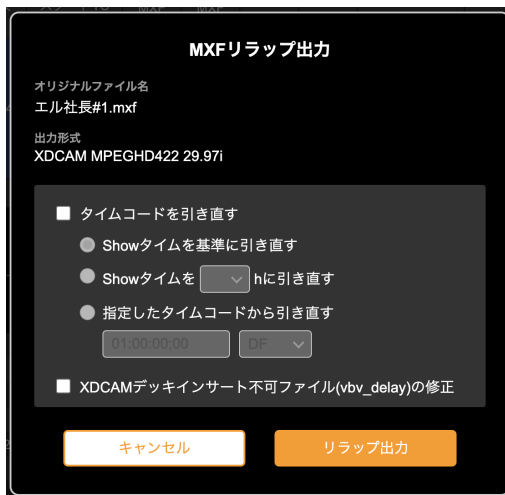
Premiumプランでご利用いただけます。

検査したファイルをリラップして再出力する機能です。

本バージョンではXDCAMのみ対応しています。

リラップボタンを押すと、下記のダイアログが表示されます。

「リラップ出力」ボタンを押すと、出力先のファイル名を入力するダイアログが表示され、リラップが開始されます。



「タイムコードを引き直す」にチェックを入れれば、タイムコードの引き直しが可能です。

- 「Showタイムを基準に引き直す」
最初に登場する xxh00m00s00f を基準にタイムコードを引き直します。ファイル先頭にタイムコード飛びがある場合やNDFのファイルなどで連続したDFのタイムコードを引き直したい場合などに有効です。
- 「Showタイムを ○ hに引き直す」
指定した時刻をShowタイムとして引き直すことができます。
- 「指定したタイムコードから引き直す」
ファイル先頭を指定されたタイムコードとし、以後を連続タイムコードに書き換えます。

「XDCAMデッキインサート不可ファイル(vbv_delay)の修正」にチェックを入れると、Premiere25.3以降で出力したMXFファイルがXDCAMデッキでインサートREC時にエラーとなる現象を修正することができます。XDCAMデッキでインサートRECできることを保証するものではありません。

また、修正するのは vbv_delay の値であり、可変GOPなどのその他の理由でインサートREC NG となるものはエンコード自体の問題となりますので改善できません。



リラップとは？

MXFの映像・音声・アンシラリデータを抽出し、新たにMXFファイルを再生成する機能です。コンテンツ自体には全く変化はありませんので安全にファイルを再生成できます。

- 検査証明書ダウンロードボタン

本ソフトウェアで検査したことを示す検査証明書PDFファイルを出力します。ファイルの出力先のデフォルトはユーザー「ダウンロード」フォルダです。後述の設定で出力先の変更が可能です。

検査証明書PDFは、下記のようなPDFです。

納品先への提出などにご利用ください。

※すべての再生機器・編集環境での完全な動作を保証するものではありません。

検査証明書	
下記の素材をAS MXF Checkerで検査したことを証明します。	
検査モード【標準】	
検査日時	2025/05/13 14:56:06 JST
ファイル名	エル社長#1.mxf
バイト数	1,591,123,768 Bytes
フォーマット	XDCAM MPEGHD422
スタートTC	01:00:00;00
デュレーション	00:03:32;04
UMID	060a2b3401010501010d1113000000f04979012406069743750e02a6aec19a
SHA1 ハッシュ値	e1d995612366c380deacaf44e48e32a14a6a0e89
ラウドネス値(ch1,2)	-32.15 LKFS
ラウドネス値(ch3,4)	無音
[チェック結果]	
MXFヘッダ	WARN
MXF全体	WARN
民放連規格	NG
その他	OK
インフォメーション	ヘッダーの情報が規格に準拠していません。再生機によってはエラーになる可能性があります。 リーダーとプログラムリーダーの秒数が短すぎます。(0秒) ch1,2のラウドネス値が-24.0±1.0 LKFSの範囲を超えています
※本検査結果は、本ソフトウェアが検出可能な項目に基づきMXFファイルの構造やメタデータの整合性を確認したものであり、すべての再生機器・編集環境での完全な動作を保証するものではありません。 株式会社アンバーサイン AS MXF Checker バージョン v1.0.0 にて検査 出力: 2025/05/13 14:56:06 JST	

- 検査結果ダウンロードボタン

検査ログやファイル詳細情報をテキストファイルでダウンロードできます。詳細な解析を技術者に依頼するときなど、必要に応じてご利用ください。

なお、インデックス情報はファイルサイズが大きいためご注意ください。



検査ログ(③)

「インフォメーション」に表記しきれなかった検査の詳細ログを表示します。技術者向けの情報です。

ファイル詳細情報(Raw)(④)

MXFのヘッダーメタデータのKLVの解析結果のjsonを表示しています。技術者向けの情報になりますので必要に応じてご利用ください。

設定画面表示(⑤)

設定画面を開きます。(Webブラウザが起動します。)

設定画面の詳細は「4. 設定画面」を参照してください。

メニュー(Windowsの場合、ウィンドウ上部にあります)



- 「ファイル」メニュー

- 「検査済みのリストを消去」

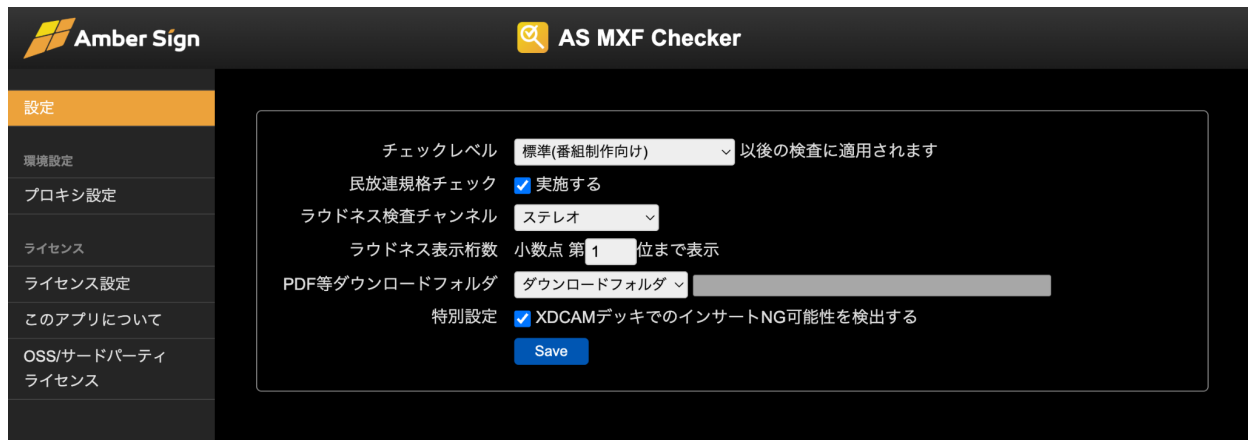
検査済みのリストを消去します。

- 「ログのあるフォルダを開く」

アプリの動作ログが出力されるフォルダを開きます。アプリの不具合時などにサポートを依頼する場合にご利用ください。

4. 設定画面

メイン画面の右上の歯車アイコンを押下するとブラウザが開き、設定画面に遷移します。



- 設定
AS MXF Checkerの設定を行います。
- プロキシ設定
プロキシの設定を行います。
- ライセンス設定
ライセンス状態の確認、ライセンスの更新、解除を行えます。
- このアプリについて
ソフトウェアのバージョン情報、および、ソフトウェア利用規約および関連規程を表示します。
- OSS/サードパーティーライセンス
Open Source Softwareや、その他ライセンスを表示します。必要に応じてご覧ください。

4.1. Settings

チェックレベル 標準(番組制作向け) 以後の検査に適用されます

民放連規格チェック ☒ 実施する

ラウドネス検査チャンネル ステレオ

ラウドネス表示桁数 小数点 第1位 位まで表示

PDF等ダウンロードフォルダ ダウンロードフォルダ

特別設定 ☒ XDCAMデッキでのインサートNG可能性を検出する

Save

チェックレベル

MXFファイルの検査レベルを設定します。

- 厳密(オンラインCM運用向け)
SMPTEの規格に一部でも準拠しない部分がある場合、検査結果が×になります。特にCMオンラインの運用では、こちらを推奨します。
- 標準(番組制作向け)
SMPTEの規格に、一部準拠しない部分がある場合でも、軽微なものであれば検査結果が△となるモードです。厳密モードではほとんどのノンリニア編集ソフトで出力したMXFファイルは「×」になってしまうため、運用上支障がある場合にこちらを選択してください。

民放連規格チェック

純粋にMXFをチェックしたい場合など、民放連番組交換基準などのチェックが不要な場合はこちらをオフにしてください。

ラウドネス検査チャンネル

ラウドネスをチェックするストリームを選択できます。

- なし
ラウドネスの計算を行いません。検査が高速になります。
- ステレオ
ch1,2をステレオ音声として検査します。
- デュアルステレオ
ch1,2をステレオ音声、ch3,4を別のステレオ音声として検査します。
- 5.1ch+S

ch1～6を5.1chサラウンド音声、ch7,8をステレオ音声として検査します。ch1～6は民放連の基準に則ったチャンネルレイアウト(L,R,C,LFE,LS,RS)である必要があります。

ラウドネス表示桁数

ラウドネス値を小数点第何位まで表示するか指定できます。表示しない桁で四捨五入されます。

(小数点第1位まで表示する場合、-1.54 → -1.5、-1.55 → -1.6)

PDF等ダウンロードフォルダ

検査証明書PDFや検査ログをダウンロードするフォルダを指定します。

- ダウンロードフォルダ
OSのログインユーザーのダウンロードフォルダを指定します。
- デスクトップ
OSのログインユーザーのデスクトップフォルダを指定します。
- その他
任意の出力先を指定できます。
出力先のパスを入力してください。

特別設定

「XDCAMデッキでのインサートNG可能性を検出する」

本設定をオンにすると、XDCAMデッキでのインサートに適していないファイルの場合に情報として表示されます。(XDCAMデッキの仕様は公開されていないため、必ずしもXDCAMデッキでインサートができることを保証するものではありません。)

XDCAMデッキでのインサートNG可能性と検出するのは下記3項目です。

- vbv_delayの値が異常値である
- 可変GOPである
- 途中切り出したファイルである(origin / precharge)が設定されている)

4.2. プロキシ設定



プロキシ設定 : OSの設定に従う ▼

Save

プロキシ環境化で、ライセンス認証をオンラインで行うために必要な設定です。

- 「OSの設定に従う」「静的に指定する」「使用しない」が選択できます。デフォルトは「OSの設定に従う」です。「静的に指定する」を選択した場合、プロキシサーバーを指定する入力項目が表示されます。お使いの環境に合わせて登録してください。



プロキシ設定 : 静的に指定する ▼

サーバー :

ポート :

ID :

パスワード : パスワードは暗号化されずに送信される場合があります

Save

4.3. ライセンス設定

ライセンスの状況確認や、更新、解除が行えるメニューです。

① アカウント: aki.hanzawa@amber-sign.jp
ライセンス状態: active
プラン: Premium
確認方法: offline オンラインに切り替える ②
最終ライセンス確認日時: 2025-07-10 13:06:42 +0900 JST
ライセンス期限: 2026-05-24 12:20:13 +0900 JST (317日後)

ライセンス更新: ファイルを選択 ③ 選択されていません

ライセンス解除: ライセンスを解除する ④

ライセンス状態(①)

ライセンスが有効かどうかの情報、ライセンス認証方法、期限などを表示します。

オンライン・オフライン切り替え(②)

オンラインとオフラインを切り替えることができます。オフラインで登録していたが、インターネットが接続可能になった場合などに実施してください。

切り替えはインターネットに接続できる状態でのみ行うことができます。

ライセンス更新(オフラインライセンス認証時)(③)

ライセンスが更新になった場合や、プランを変更した場合などに、新たにライセンスファイルを適用することができます。アンバーサインWebサイトからダウンロードしたライセンスファイルを入力してください。

ライセンスファイルはご利用のデバイスに紐づいていますので別のデバイス用のライセンスを入力するとエラーになります。

ライセンス確認(オンラインライセンス認証時)(③)

ライセンス確認: ライセンス情報を更新する

オンラインライセンス認証モードでは、「ライセンス情報を更新する」ボタンになります。ライセンス期限更新時やプランを変更して、ライセンスの最新情報をすぐに適用したい場合に押してください。（押さなくても半日～1日ほどで自動的に適用されます。）

ライセンス解除(④)

端末の故障や更新時に、もうこのデバイスでアプリを使用しない場合にライセンス解除を行うことができます。解除を行うと、アプリは使用不能となり、解除したライセンスを別のデバイスに適用することができます。

4.3.1. このアプリについて

ソフトウェアのバージョン情報、および、ソフトウェア利用規約および関連規程を表示します。

4.3.2. OSS／サードパーティライセンス

Open Source Softwareや、その他ライセンスを表示します。必要に応じてご覧ください。

5. トラブルシューティング

5.1. よくある質問とその解決策

Q. 対応しているMXFの種類は？

A. XDCAMのMXFファイルとXAVC-I, XAVC-LのMXFファイルに対応しています。その他のMXFファイル(P2など)もチェックできますが、厳密なチェックは実施しておりませんので評価結果は参考値としてください。

Q. どんなファイルでもリラップできますか？

A. XDCAMのMXFのみリラップの対象となります。映像コーデック、音声コーデックに問題がある場合は対応できません。また、MXFファイルの構造が本アプリケーションが対応できないほどおかしい場合はエラーとなります。

XAVCのリラップはバージョンアップにて将来対応予定です。

Q. 字幕入りのMXFファイルでもリラップできますか？

A. 字幕(アンシラリ)のあるMXFファイルでも問題なくリラップできます。

Q. リラップ機能でタイムコード飛びがあるファイルのタイムコード引き直しができますか？

A. 可能です。

Q. 設定でチェックレベルを変えても同じメッセージが表示されます。

A. チェックレベルを変更しても、チェック自体は同じ内容で実施され、チェック結果としてNG(✖)となるか、Warning(△)になるかが変わります。インフォメーションに出力される内容は変わりません。

Q. チェック内容ごとに個別にレベルを設定したい。

A. 現時点では対応しておりません。将来的に細かい設定を行えるようにする予定です。

Q. ラウドネスは3モノラル、3ステレオなど3つ以上の音声の計算に対応していますか？

A. 同時に計算できるラウドネス値は2ストリームまでです。

Q. UMIDとはなんですか？

A. SMPTEの規格で定義されているMXFごとにファイルを一意に識別するコードです。UMIDが同じファイルは、同じファイルという意味となります。

Q. 瞬間最大ビットレートはどのように計算していますか？

A. インデックステーブルに記載されている映像データのサイズを元に、2秒間の移動平均を計算し、その最大レートを表示しています。

Q. よく使われている編集ソフトで出力したMXFファイルがエラーになります。AS MXF Checkerの検査は正しくないのではないのでしょうか。

A. 弊社の検証により、一般的に使用されている一部の編集ソフトが出力するMXFファイルが、XDCAM形式の規格であるSMPTE RDD9に完全には準拠していないケースがあることを確認しています。

ほとんどの再生機では問題が発生しないものの、一部のサードパーティ製再生機(特に古いモデルなど)ではエラーが発生する事例が報告されています。

Q. 音声のチェックは何をしていますか？

A. ラウドネス測定その他、1kHzが正しいか(1kHzの有無、周波数、ボリューム)、クレジット・ステカット・ノンモン区間が無音かを確認しています。無音の定義として、民放連T032基準にて、-70LKFS以下と規定されておりますので、それを基本的な基準としております。デジタル0ではないが無音範囲の場合、参考情報としてインフォメーションにその旨を表示しております。

なお、当社の研究により、1サンプルだけのクリックノイズがあるようなケースで、聴感上ノイズが聞こえるのに、ラウドネス測定では-70LKFS以下になって無音扱いになってしまう事象を確認しており、当社独自基準としてトゥルーピークが-50dBTPを超える場合は、聴感上無音ではないため、-70LKFS以下であっても、無音ではないという判定とさせていただいております。

Q. AS MXF Checkerで発見できないエラーや、追加して欲しいチェック項目がある場合、相談できますか？

A. もちろんです！ 本アプリケーションは運用目線のチェックを謳った製品ですので、お客様からのご意見を取り入れて今後も進化していきます。巻末のサポート連絡先までご相談ください。

Q. 「XDCAMデッキインサート不可ファイルの修正」機能を用いれば、AS MXF Video Interter でインサートされたファイルをXDCAMデッキでインサートできるようになりますか？

A. いいえ。

「XDCAMデッキインサート不可ファイルの修正」は、Premiere25.3以降などで固定GOPにも関わらず、インサートNGを復旧するための機能であり、インサートNGとなり理由が異なります。本機能ではGOP構造自体は変わりませんので、本機能を用いてリラップをおこなっても、XDCAMデッキでインサートができるようにはなりません。

6. 補足情報

6.1. ライセンスとトライアルについて

『AS MXF Checker』は、端末1台ごとに1つのライセンスが必要です。ライセンス解除と適用を繰り返し、複数の端末でご利用いただくことはライセンス違反になりますのでご注意ください。

初めてのご利用には、トライアルとして一定期間無料で機能制限なしでご評価いただけます（トライアル可能期間は当社Webページをご覧ください）。トライアル中の本運用での使用は控えください。トライアル期間中に本ソフトウェアの購入を決定して、本格導入を前提に使用する場合はこの限りではありません。

7. サポートについて

ご不明な点がございましたら、以下のサポート窓口までお問い合わせください：

Webフォーム：<https://www.amber-sign.jp/contact/>

メール：support@amber-sign.jp

サポート対応時間：平日 10:00～18:00（土日祝および当社が定める休日を除く）

継続課金型サービス（サブスクリプション）ユーザー向けサポート規程

<https://www.amber-sign.jp/terms/subscription.html>